

報恩講

超勝寺



如来大悲の恩徳は

身を粉にしても報すべし

師主知識の恩徳も

ほねをくだきても謝すべし

(正像末和讃)

	11月17日(日)	11月18日(月)	11月19日(火)
AM 7:00 〈晨朝〉		・正信偈六首引	・正信偈六首引
AM 10:00 〈日中〉		・無量寿経作法 ・法話	・阿弥陀経作法 ・法話
PM 2:00 〈逮夜〉	・大師影供作法 ・法話	・報恩講作法 ・法話	18日の逮夜終了後 「みやま長寿そば」の皆様によります、素朴な風味がた だよう 打ちたてのおろしそ ば を召し上げれます。
PM 7:00 〈初夜〉	・日没礼讃 ・法話	・御伝抄 ・法話	

※ なかなかお会いできない法縁でございます。御近所・友人お誘いあわせて、にぎにぎしくご参拝いただきますようご案内申し上げます。

※ お世話方各位におかれましては大変お手数をおかけいたしますがご膳米をお納め下さいますようお願いいたします。

「報恩講」は親鸞聖人の恩徳に報謝する仏事で、本願寺では親鸞聖人の祥月命日（1月16日）に勤修することから御正忌報恩講法要といい、毎年1月9日から16日まで7昼夜営まれます。

浄土真宗のお寺では、ご本山でのお勤め前に「報恩講」を営むことが習慣化している地域などでは引上会、御取越などとも呼ばれています。

講師紹介

あさだ しゅうじゅん
麻田 秀潤 師

〈プロフィール〉
 1952（昭和27）年新潟県生まれ
 新潟教区元上組（新潟県小千谷市）極楽寺住職
 本願寺派布教使

『さびしいとき』

私がさびしいときに、
よその人は知らないの。

私がさびしいときに、
お友だちは笑うの。

私がさびしいときに、
お母さんはやさしいの。

私がさびしいときに、
佛さまはさびしいの。

金子みすゞ

いつも、私たちは仏さまのやさしいまなざしに見つめられて生かされているのです。

私たちにいつも寄りそい

「心配することないですよ。わたしはいつも、あなたをこの手のなかにしっかりと、抱きしめていますよ。」

いつも、あなたのことを見つめ、おもっていますよ」と願いつづけてくださる仏さま。金子み

すゞさんもお念仏のみ教えのなかから、いのちへのいたみを、しっかりと知らされていったことでしょう。

親鸞聖人がおっしゃっていらっしやる念仏は阿弥陀仏からこの私に届けられたもの。そう思うと仏様への感謝が口をついて出てくるのが念仏だというのわかりやすくなります。